



8・9の生活目標
落ち着いた生活をしよう
8・9月の保健目標
けがをふせごう



2学期スタート！

教頭 奥家 智子

長い夏休みが終わり、子どもたちがつばさ小に戻ってきました。どの子も一回り大きく、たくましくなったように見え、色々な経験をしたことが伺えました。子どもたちから話を聞くのがとても楽しみです。子どもたちが夏休み中に取り組んだ作品は、各教室の廊下に飾られ、9月5・6日（15：45～16：45）に「夏休み作品展」として保護者の皆様もご覧いただけます。ぜひ見にいらしてください。

子どもたちだけでなく、大人の皆様も充実した夏になったでしょうか。コロナ後に復活した行事も多く、宮原まつりや日進七夕まつりなど地域のお祭りを子どもも大人も楽しむことができました。ボランティアやPTA、おやじの会、地域の皆様には多くのご協力をいただき感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今年はパリオリンピックも行われ、選手たちの活躍、競技に取り組む真摯な姿に、感動、元気、勇気をもたらした方も多かったのではないのでしょうか。オリンピックに関わらず、勝負事や競技には勝敗や順位が伴いますが、そんな時に思い出す話があります。

アメリカの士官学校では、卒業生の中で主席よりも成績最下位の卒業生を盛大に祝う習わしがあるそうです。士官学校の訓練は過酷そのもので、そもそも参加することすらハードルが高く、スタートラインに立ったところで脱落を余儀なくされたり、あきらめたりしてしまう人も多いそうです。そんな中、卒業までたどり着けた人はもちろん、皆、讃えられる存在なのですが、最下位で卒業した人は、その過酷なレースの中、何度脱落の危機にあっても必死に食らいついて、崖っぷち根性を見せたからということだそうです。海軍では最下位卒業生を Anchor man（錨の男。海の底にいるが、なくてはならない大切な存在という意味）と呼んで讃えるそうです。最下位であっても恥じることはない、何があっても走り切ったことを誇るべき。こういうマインドで自分を認めてあげられることは大切なことだなと思います。私達も教師として、子どもたちを見つめ、認め、価値を伝え、育んでいきたいと思っています。



1年の中で最も長く、運動会や校外学習など行事も目白押し。2学期が始まります。夏に一回り大きくなった子どもたちが、つばさ小で様々なことを学び、さらに大きく成長できるよう保護者の皆様、地域の皆様と共に支援してまいります。2学期もどうぞよろしくお願い致します。

おめでとうございます！

◆第65回埼玉県吹奏楽コンクール

【銀賞】 つばさ小学校吹奏楽部

◆身体障害者福祉のための

第66回埼玉県児童生徒美術展覧会

【特選】

【入選】



※入選作品は職員室前に展示します。

※特選作品は身体障害者福祉のための第66回埼玉県児童生徒美術展覧会に出展されます。

会場 戸田市文化会館

日程 10月19日（土）9時～16時半

10月20日（日）9時～14時

◆第52回日進七夕まつり装飾コンクール

【さいたま市北区区長賞】

さいたま市立つばさ小学校

デザイン画



◆第66回さいたま市水道週間ポスターコンクール

【佳作】

2学期着任職員の紹介

6年1・3・4組算数担当

教諭

新聞委員会 バasketボールクラブも担当します。

【教育実習】 ～よろしくお願ひします～

